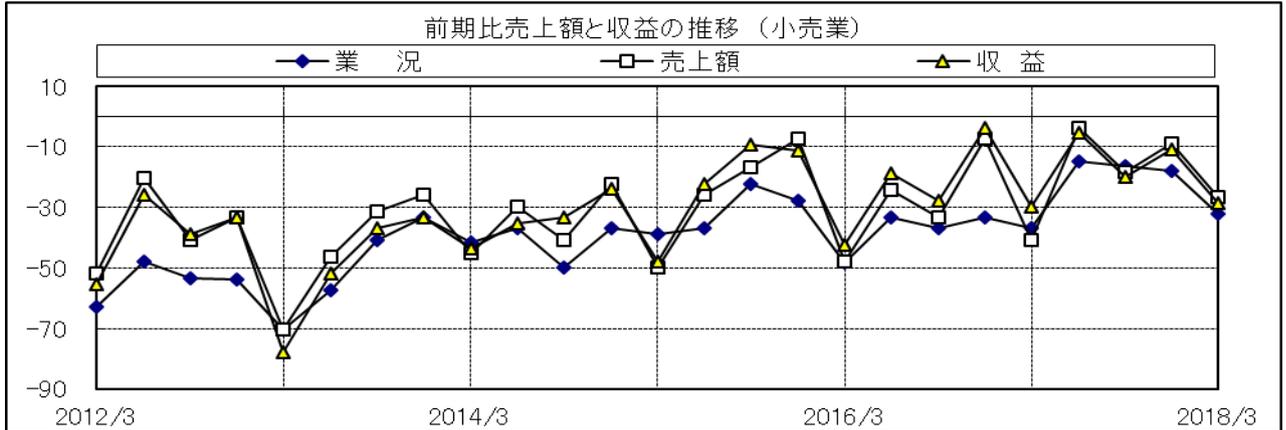


# 小売業 56企業（回答率 100%）の調査結果です

## □ 景況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績
業況	-16.4	-17.9	-32.1	-28.6
売上額	-18.3	-8.9	-26.8	-8.9
収益	-20.1	-10.7	-28.7	-8.9

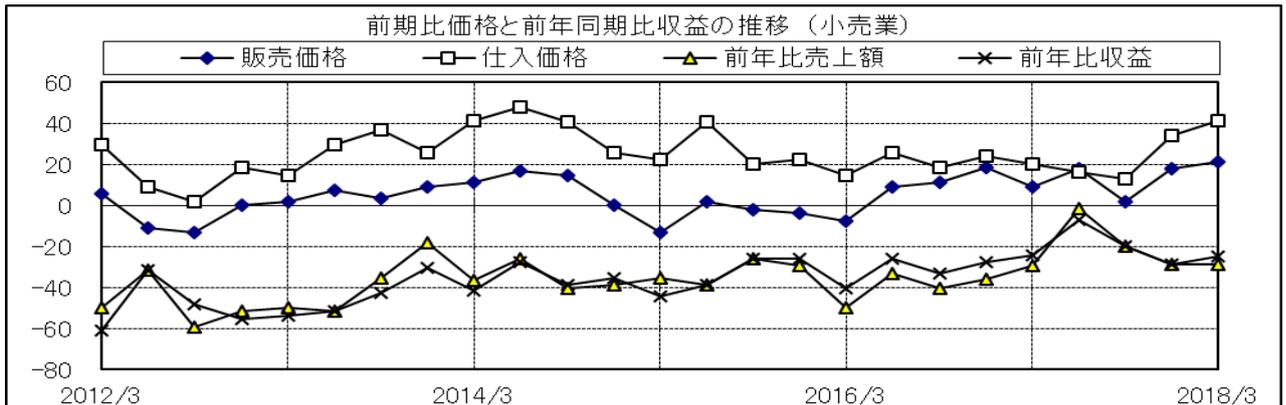
今期の業況判断 D. I. は  $\Delta 32.1$  で、前期比 14.2 ポイント下降、前年 ( $\Delta 37.0$ ) 比では 4.9 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、浦河、静内、えりも、広尾、三石と続き、様似が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は  $\Delta 26.8$  で、前期比 17.9 ポイント下降。収益判断 D. I. は  $\Delta 28.7$  で、前期比 18.0 ポイント下降した。



## □ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
販売価格	1.8	17.9	21.4	5.3
仕入価格	12.7	33.9	41.1	21.4

販売価格判断 D. I. は 21.4 で前期比 3.5 ポイント上昇、前年 (9.2) 比で 12.2 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 41.1 で前期比 7.2 ポイント上昇、前年 (20.3) 比で 20.8 ポイント上昇した。業種別では、販売価格で食料品が上昇、衣料・家電品は横這い。仕入価格では、衣料品が上昇、食料品が横這い、家電品が下降となった。



## □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	-9.2	-7.1	-10.7	-8.9
人手状況	-16.3	-21.4	-16.1	-10.7

残業時間判断 D. I. は  $\Delta 10.7$  で、前期比 3.6 ポイント下降、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は  $\Delta 16.1$  で、前期比 5.3 ポイント上昇、人手不足感が弱まった。

## □ 設備投資の動き

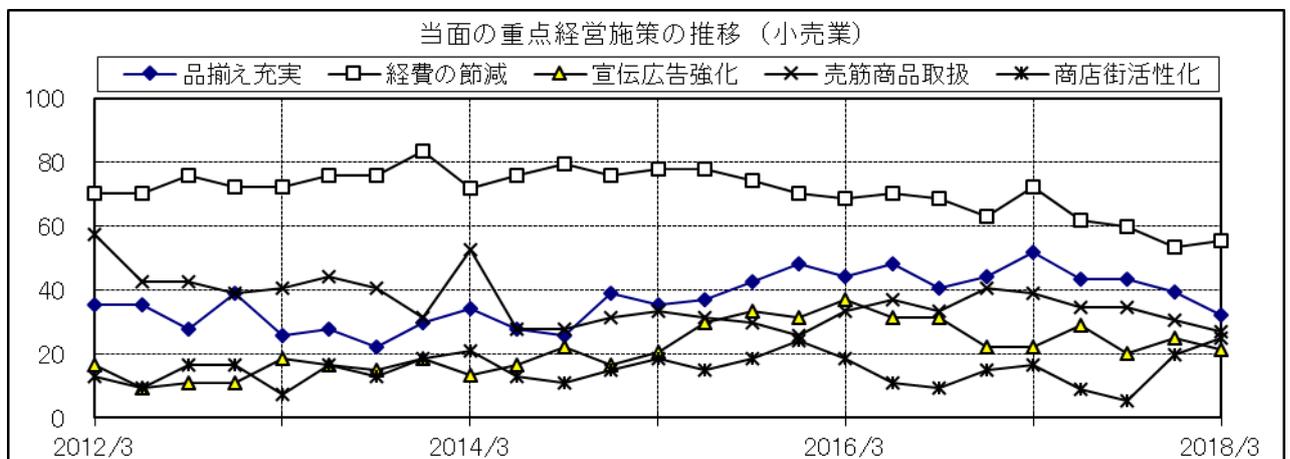
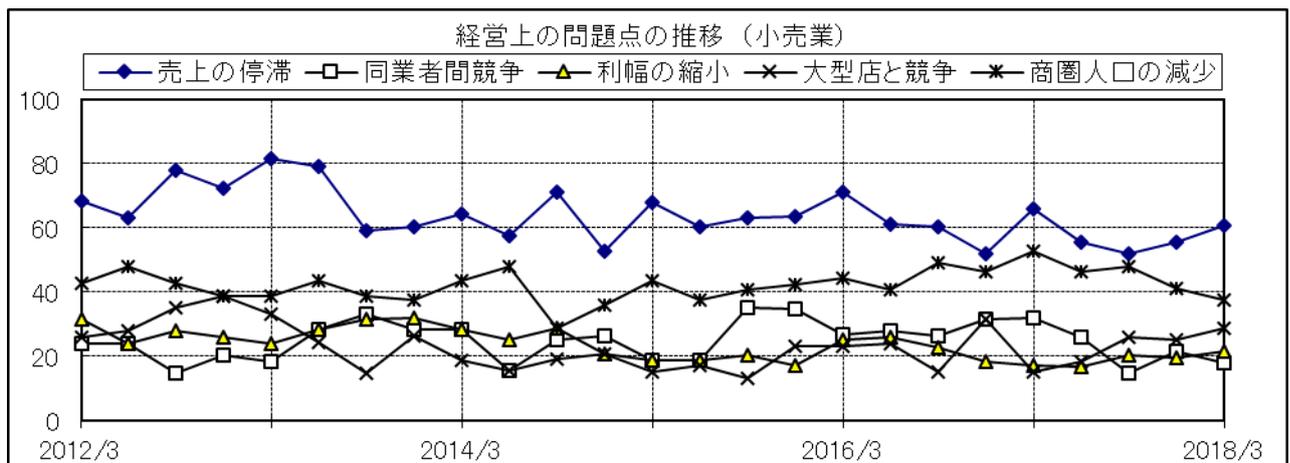
設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 17.9$ で、前期( $\Delta 14.3$ )比で3.6ポイント下降した。

設備実施企業割合は7.1%で、前期(8.9)比で1.8ポイント下降した。設備投資は、前期5社に対し、4社の実施となった。来期の設備投資の予定は0社となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が60.7%と最も多く、「商圈人口減少」37.5%、「大型店との競争」28.6%、「利幅の縮小」21.4%、「値上げ要請」19.6%、「同業者との競争」17.9%、「商店街集客力低下」12.5%、と続き、「人手不足」・「取引先減少」・「地場産業衰退」が同率の8.9%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が55.4%と最も多く、「品揃え改善」32.1%、「売れ筋商品取扱」26.8%、「商店街活性化」25.0%、「宣伝広告強化」21.4%と続いた。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は $\Delta 28.6$ と、今期比3.5ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は $\Delta 8.9$ と、今期比17.9ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は $\Delta 8.9$ と、今期比19.8ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は5.3と、今期比16.1ポイントの下降を見通している。

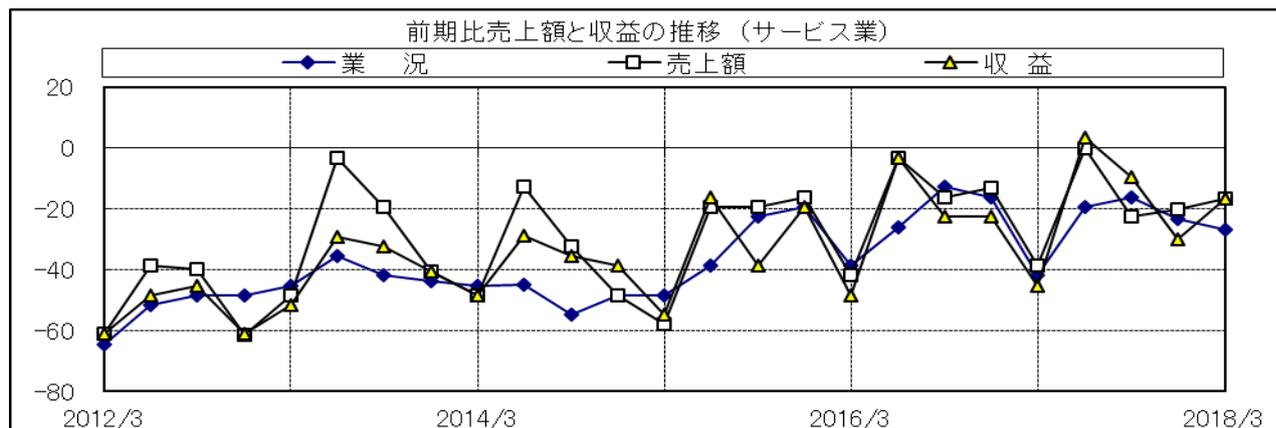
予想仕入価格判断D. I. は21.4と、今期比19.7ポイントの下降を見通している。

## サービス業 30 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 概 況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業 況	-16.2	-23.3	-26.7	-0.1
売上額	-22.6	-20.0	-16.7	23.3
収 益	-9.7	-30.0	-16.6	16.7

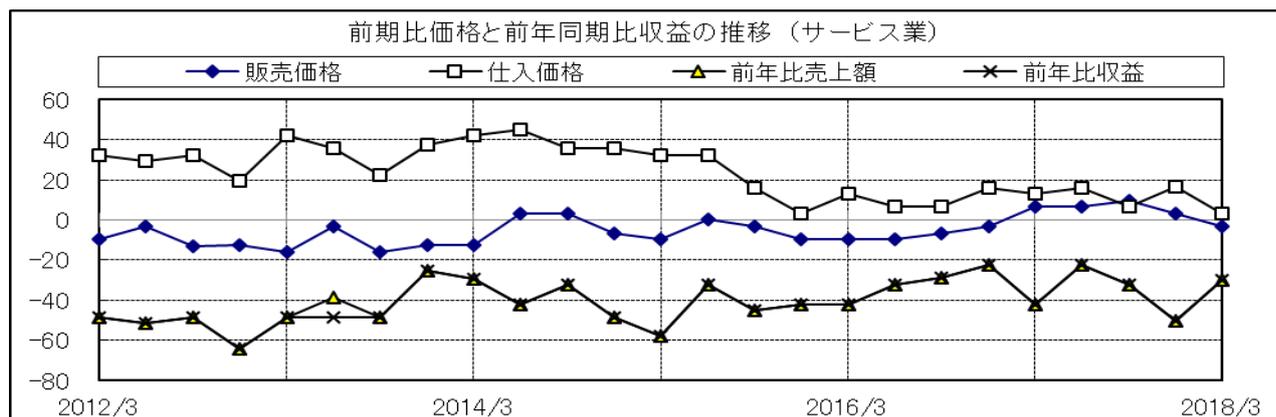
今期の業況判断 D. I. は△26.7 で、前期比 3.4 ポイント下降、前年(△42.0)比で 15.3 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、静内・えりもが同率で最も高く、三石・広尾が同率で続き、次に浦河、様似が最も低くなった。売上額判断 D. I. は△16.7 で、前期比 3.3 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は△16.6 で、前期比 13.4 ポイント上昇した。



### □ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
料金価格	9.7	3.3	-3.3	0.0
材料価格	6.5	16.7	0.0	0.0

料金価格判断 D. I. は△3.3 で、前期比 6.6 ポイント下降、前年(6.5)比では 9.8 ポイント下降した。材料価格判断 D. I. は 0.0 で、前期比 16.7 ポイント下降、前年(12.9)比で 12.9 ポイント下降した。業種別では、旅館業は料金が下降、材料費が横這い。洗濯理美容業は料金が横這い、材料費が下降。自動車整備業は、料金、材料費とも下降。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	-9.7	-10.0	-6.7	0.0
人手状況	-19.3	-16.7	-10.0	-10.0

残業時間判断 D. I. は△6.7 で、前期比 3.3 ポイント上昇、残業時間が増加したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は△10.0 で、前期比 6.7 ポイント上昇、人手不足感が弱まった。

## □ 設備投資の動き

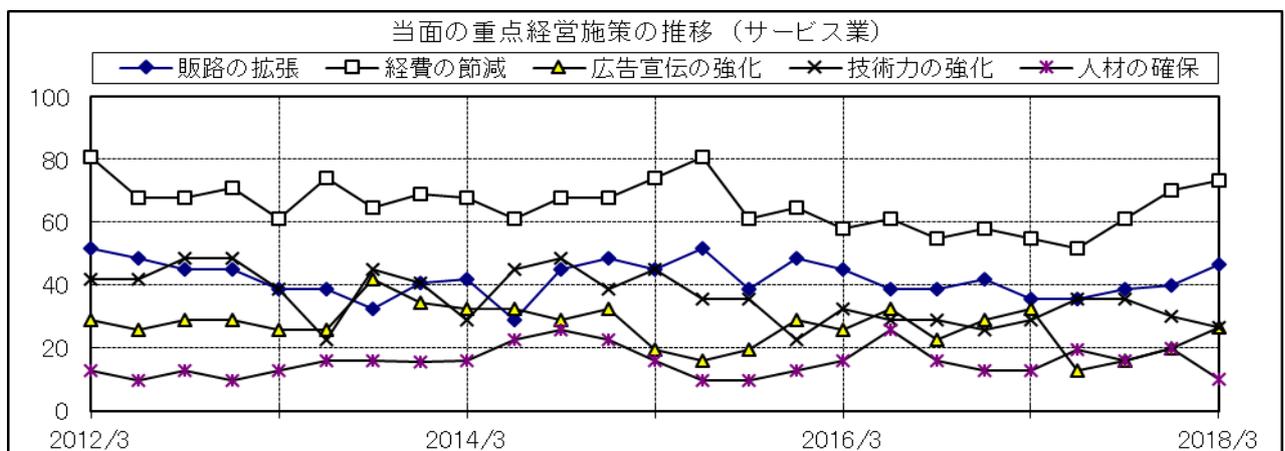
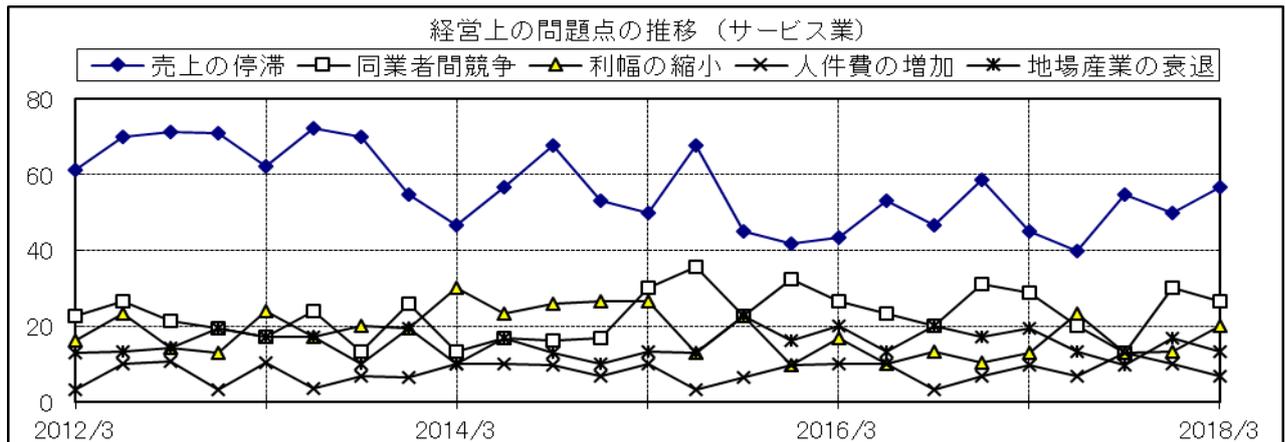
設備投資の充足感を示すD.I.は0.0で、前期(△3.4)比3.4ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は3.3で、前期(10.0)比6.7ポイント下降した。設備投資は、前期3社の実施に対し、1社の実施となった。来期の設備投資は2社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が56.7%と最も多く、「商圈人口減少」43.3%、「同業者競合」26.7%、「利幅縮小」20.0%、「地場産業衰退」16.7%、「店舗設備老朽化」13.3%、「人手不足」10.0%と続いている。

重点経営施策では、「経費節減」が73.3%と最も多く、「販路拡大」46.7%、「宣伝広告強化」・「技術力強化」が26.7%、「提携先を見つける」・「人材確保」・「教育訓練強化」が10.0%と続いている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△0.1と、今期比26.6ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D.I.は23.3と、今期比40.0ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D.I.は16.7と、今期比33.3ポイントの上昇を見通している。

予想料金価格判断D.I.は0.0と、今期比3.3ポイントの上昇を見通している。

予想材料価格判断D.I.は0.0と、今期比横這いを見通している。